

成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより143号
R1. 12. 5

KBC杯デビュー戦飾る



12月1日(日)、県総合運動公園ラグビー場にて第21回KBC杯ラグビー大会が開催され、羽地中3年生チームが屋部中に22-15でデビュー戦を勝利で飾りました。

羽中2年生ペア

名嘉杯を制す



12月3日(火)付、沖縄タイムス社スポーツ面にでかかど掲載されたとおり、第31回名嘉賀昌杯中学校ソフトテニス大会が県総合運動公園庭球場で行われ、羽地中2年のT・Aさん、O・Mさんペアがライバル達に打ち勝ち、見事、優勝を果たしました。おめでとうございます。

新聞記事では、1-2ゲームからのボレーと強打で追いつき、第5・6ゲームで相手ペアが立て直す前に連取。前・後衛のそれぞれが役割をきっちり果たし、逆転勝ちしたとありました。本人達のコメントです。

今回の名嘉杯での良かった点は、対戦相手に合わせた戦略で闘うことができた点です。二人で話し合い、作戦を練ることができました。

反省点として、二人で雰囲気をつくることできなかった場面があったことです。決勝戦でも暗い時がありましたが、まわりの応援のおかげで気持ちを切り替えることができました。

九州大会では、自分たちが雰囲気高め、試合の中で相手の様子を見ながら、作戦を練れるようにして闘ってきたいです。

九州大会は熊本県で開催され、二人は24日に沖縄を出発します。沖縄県代表選手としての活躍に期待したい。自分たちのテニスを思いっきり楽しんできてほしいですね。



写真提供・新城優子先生



KBC杯の総評
デビュー初戦の対戦相手は屋部中学校。羽地中同様に二期からラグビー部を結成し、お互いにラグビー経験が初めてのチーム同士で、試合が成り立つか不安でしたが、いざキックオフの笛が鳴ると、目の色が変わり、がむしやりにタックルしていく姿がかっこよかったです。ボールを持つと、相手をかわしながら走って行く姿にラグビーセンスがあり、さすが羽地中の生徒だなと感じました。なかでも、Sさんがボールを支配すると、相手DFを置き去りにするスピードは、ラグビー日本代表の松島幸太郎選手のようにでした。次回の大会が最後ですが、勝利をめざして、学校生活、練習を考えて行動してほしいです。

H・H